

# Connect & Create NOBEOKA

全国のクリエイターが延岡で市民と“コネクリ”ながら映像制作



## 映像エンタメの新たな試み

「Connect & Create NOBEOKA」(略称:コネクリ延岡)は、延岡市を映像エンターテインメントの街として盛り上げるべく、全国から公募したクリエイターに延岡に滞在してもらいながら映像制作するレジデンスプログラムです。コネクト支援とクリエイティブ支援でクリエイターをサポートし、つくりたいもの、つくりたかったものを延岡で“コネクリ”ながら形にし、新たな地域発信の可能性に挑戦します。

**コネクト支援** 延岡の街や自然、そして人との交流(コネクト)の機会を提供します

- ・ 最長1.5ヶ月のアーティスト・イン・レジデンスの実施
- ・ 滞在中に制作された作品を発表する映像祭の開催
- ・ 協力関係にある延岡市内の場所をロケ地としての利用支援
- ・ 地元有志のキャスト協力



## 上田慎一郎 監督 がメンター

映画「カメラを止めるな！」の上田慎一郎監督がプログラムのメンターに就任。採択されたクリエイターは、企画立案や途中経過の段階でアドバイスを受けるなど、一貫したサポートのもと作品制作に取り組みます。

上田監督は、第76回カンヌ国際映画祭による第2回「#TikTokShortFilm コンペティション」にて、縦型ショートムービー「レンタル部下」でグランプリ受賞。

**クリエイティブ支援** 延岡滞在中の作品づくり(クリエイティブ)を様々な面から支えます

- ・ 制作支援金5～10万円の支給 (宮崎県外クリエイターのみ)
- ・ 最長1.5ヶ月無償で滞在できる宿場場所の確保 (宮崎県外クリエイターのみ)
- ・ waiwai PLAY LABの機材貸出およびスペースの利用
- ・ メンターの上田監督による企画のアドバイス

## スケジュール

### 募集

2023/10/11  
-11/13

全国・海外から  
20組の応募。  
計13組を採択。

### Kickoff Camp

2023/12/16-17

1泊2日の上田監督とのキックオフキャンプ。ワークを中心にシナリオ作りの極意を学ぶ。

### レジデンスプログラム

2023/12/16 - 2024/1/26

延岡市内のさまざまな場所をロケ地として活用、市民もキャストで協力しながら作品制作。

### 中間メンタリング

2024/1/11-12

中間発表として上田監督よりフィードバックをもらい今後のブラッシュアップに役立てる。

### Connect & Create NOBEOKA Movie Festival

2024/1/27

延岡での成果をお披露目する映像祭。一連の取り組みからエンタメのまち延岡を発信。



最新テクノロジーや撮影機材を備えクリエイティブ活動を支援する施設 waiwai PLAY LAB

## 市民がキャストやロケ地で協力

映像制作はクリエイターの希望に沿って、運営がキャスト・ロケ地の調整を行いました。希望が通ったあとはクリエイターが直接細かな調整を行います。地域に根付いたケーブルテレビがコーディネーターとして入ることで協力体制が得やすくスムーズな撮影につながりました。クリエイターには市民との交流機会を設け関係づくりを後押し。キャストやロケ地以外にも、移動に使用する車や小道具の提供、SNSやポスターといったプロモーションなど幅広い市民のバックアップがあり、関係した人・施設は300以上になりました。



### Connect & Create NOBEOKA Movie Festival

コネクリ延岡 映像祭

映像に見入る200人以上の観客

レジデンス最終日には延岡滞在中の成果をお披露目する映像祭を実施。13組の映像クリエイターが手掛けた延岡を舞台にした縦型ショートムービー19作品を巨大スクリーンで上映し、会場の様子をライブ配信しました。上田監督らによる審査と観客による市民投票により「グランプリ」「CONNECT賞」「NOBEOKA賞」「オーディエンス賞」が決定しました。

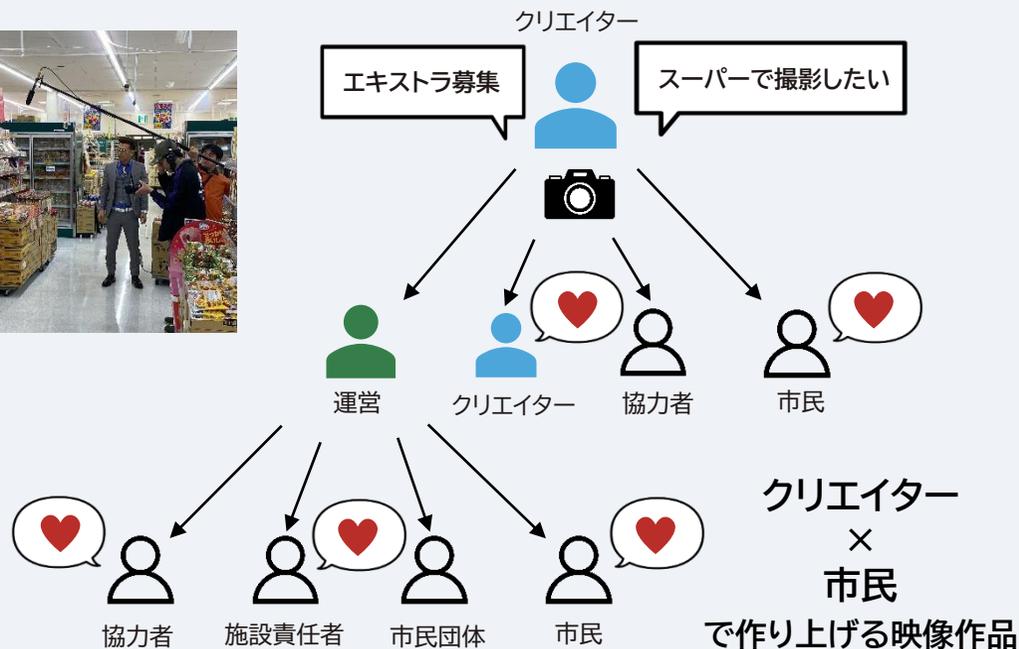
### グランプリは「幸福指数」

福岡市のCMディレクター西井舞さん制作の「幸福指数」が初代グランプリを受賞。

上田監督からトロフィーを受け取る西井舞さん



(左) 映像作品の中に登場した延岡の新しい創作料理を作って味わえるコーナーを設置  
-----  
(右) 撮影地となった実際の場所を写真とともにめぐる聖地巡礼フォトラリーも実施



## 1000万再生超「これどこで撮影してんだ？」

コネクリ延岡で制作された映像作品は多方面で反響を呼んでいます。初代グランプリに輝いた西井舞さんの「幸福指数」は、複数の国内・海外の縦型動画コンペで軒並み入賞。「見たことのないロケ地ばかりでとても新鮮に映った」と評価されています。



また、劇団スカッシュが制作した作品は、TikTokで1000万回以上再生され、いわゆる“大バズリ”。博物館で撮影した作品には視聴者から撮影地を問うコメントが寄せられ、実際に延岡の博物館で撮影したと判明すると話題になりました。

ありきたりな地域紹介・観光紹介ではない新たな形の地域発信の在り方として注目を集めています。

幸福指数の1シーン



劇団スカッシュSNSより